



優勝杯を手にごきげん。左から浜田、舟岡、恒川OB。

九月二二日(日)琵琶湖唐崎同志社艇庫沖で開催された第十五回OB戦は、スナイプ・四七〇・トップパー各校一集ついで二回戦を行い、わが早稲田はスナイプ・トップパー陣がトップを走り、六年ぶりに二回目の優勝を飾った。

四大学OB戦

琵琶湖で快勝

トップパーに押し込んで琵琶湖特有の微風にもかかわらず奇跡のトップで体面を保った。

レース後の祝勝会は、大津のうどんすき屋で盛大に行われ、天神御大の独壇場で愉快な時を過ごした。

今回、裏方としてOB集めに尽力された恒川君御苦勞様でした。

OB参加者、⑳大神、村瀬夫妻、㉑谷⑳米田秀⑳松本、洪田夫妻㉒舟岡夫妻㉓恒川夫妻㉔大嶋㉕只出夫妻㉖森田。

順位、早稲田、関学、同志社、慶応 (舟岡 記)

スナイプ級

マスターズ選手権

乗員二名の合計年齢九〇歳以上という出場資格制限のもと、全日本スナイプ級マスターズ選手権大会(第一回)が、八月三十一日、九月一日、蒲郡ヨットハーバーで開催された。出場二十八艇。

わがクラブからは、村瀬治美・山内憲治組、土肥丈志・木村光成組、並木茂士・米田秀久組の三艇が出場し活躍、好成績をあげた。松本富士也OBもスナイプ協

早稲田ヨットクラブ

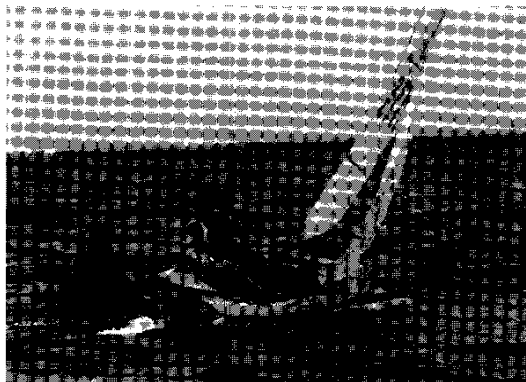
会報

第18号

昭和60年11月 発行
 発行者 事務局長 舟岡 正
 編集・広報 米田 晴二
 会費振込先 石田 晋也
 第一勧業銀行 日本橋支店
 普通預金 日本橋支店
 口座番号 一四四五七二九
 〒777ヨットクラブ 杉山博保

全日本インカレ、8位

八月二十三日、二十七日、江戸島沖にて、全日本学生選手権大会が挙行された。わが早稲田大学ヨット部も、四七〇級で健闘した。八位。



マーク回艇中の村瀬・山内組

会チームに出場、四位になった。優勝は関西Y・C甲南OBの山村組であった。

当日は台風接近中の強風下、厳しいレースとなったが、往年のオリンピック選手も含め、昭和二〇年代後半から三〇年代前半の全日本レースの古豪が久し振りに海上で相まみえ、老練な技を展開した。

このレースは、来年以降も蒲郡で開催される予定。

尚、今回の出場をクラブ別に記すと次の通り

スナイプ協会一、早稲田三、名工芸五日大OB四、中大OB三、同大OB一、三田OB一、関学OB一、他六。

卒業生就職戦線

明春卒業予定者の就職先は次の通り

梅原浩一郎 三井石油化学

入江 彰 九州松下電機

野本 久 西武百貨店

瀬戸 浩之 弘進ゴム

芥沢佳津也 三菱化成

これにて無事、フィニッシュした。有意義な学生最後の年を送られて、良き社会人になれることを祈る。先づ各々の足場を固めつつ、余暇にはヨット部後輩の指導をお願いしたい。入江主将の九州定着で、冬季グループの戦力が強化される事を期待する。

理事会だより (於、永楽クラブ)

9月19日

○秋季例大会 日程11月15日。実行委員とテーマを決める。

○稲龍、マスト新調に伴い、旧木製マストで記念品を作る件。

○全日本学連総会報告。時期を秋にしたかどうかという案がある。(就職試験とのかねあい)費用軽減案も討議されている。

○Tシャツ販売。一、五〇〇円。

○行事報告(省略)

○所沢キャンパス新設学部への寄付要請あり。対応策検討など。

10月17日

○秋季例大会の件

名称をスマートなものにする。実行委員(並木他)中心に具体的協議。テーマは矢頭部長(十八年間に感謝と激励。先生は今年還暦です。大きなカップをご披露する。

大学・体育実技講習会

成功裡に終了

九月二日より十四日まで、千葉県岩井の下郷居において開催された六〇年度早稲田大学体育実技講習会は、横田講師の指導統率の下、成功裡に無事完了した。現役ヨット部員一・二名が指導補助に当った。わがクラブとしてもこれを支援

インタビュー

体育実技講師

横田さん

横田さん、ご苦労様でした。無事終って何よりでした。

ありがとうございます。体育局の皆さん、OB各位、部員諸君のご支援のおかげです。それに天候にも恵まれました。ご同慶の至りです。

指導運営の主眼はどの辺ですか

補助員の部員諸君と事前に話し合い、目標としたのは、参加する学生に「あ、参加してよかった」という気持ちで帰ってもらえる様にしよう、ということでした。それが実現できたと思ひ、ホッとします。

体育正課のヨット実技の成果とは、どんなことだとお感じですか

まづ、スポーツとしてのヨットを理解したことです。次に、個人個人の役割

せよとの理事会決議に基き、臨時講師を派遣した。杉山・舟岡・武村という二〇年前の全日本優勝メンバーという大物講師の出現で学生諸君は大感激であった。

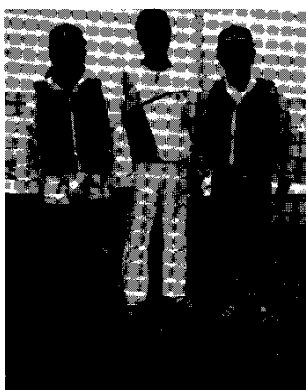
この二氏は海上での実技指導、夜の座学講義両面を行った。杉山氏は、沈の実績までやってくれたそうである。

横田さん他OB諸氏ありがとうございました。現役部員諸君、ごころうさま。

に対する責任感が生まれて、その人の行動に積極性がついてゆくことだと思ひます。

実技の初期は横浜で通いでやった事もありましたが、合宿生活では実技をうけたという感じがずつと重いですね

そりゃあもう、同じ事をやっても、全く効果が違うでしょうね。ヨットの合宿の規律ある生活から大きなものを得ていたでしょうね。特に、自己犠牲の精神



横田講師をかこむ舟岡、杉山OB。

杉山博保談

スナイプ四隻、四七〇が六隻、それに稲龍、レユキユ一紺碧が走り廻っているところへ、吾々OBが一人のりのシーホッパで乗り出した。天気も良かったし五メートル位の風で最高だった。シーホッパは、初めて乗ったがとても敏感なんでコロツとこぼれてしまった。恰好悪から自力で起こして沖へ逃げて他のに乗り替えちゃったよ。

久し振りの帆走で、ノドもかわいたしビールで一寸口をしめらせてから、夜の講義の場所に行ったら、驚いたよ。学生達が、ノートと筆記具を机の上に置いて待っていたんだ。

一番バッテリー舟岡は、豊富な国際レースの経験を生かして、しゃべりまくって学生を感動させた。

というものを、知らぬ内に身につけていたと思う。

早稲田のカラーをも、何か煮つまった感じで、持ち帰るでしょうね

早稲田マンである自覚が、はっきりしたでしょう。大学のキャンパスに通っているのは、一味違ったというか濃いスピリットが、あふれた生活ですからね。

運動部員に対する見方も、合宿の前と後では、すっかり変わるものらしいですね

体育局の存在価値をあらためて再確認

二番手は武村。今でもエスビー・スポーツで、子供たちにヨットの指導をしている現役指導者だから、幅広いヨット界の話を混えて、早稲田ヨットの宣伝に熱弁をふるった。



酒焼けスーさん

最後が私です。とに角、ヨット部はシビアではあるが、良いところだということを、ヨット部とOBクラブの活動を中心に、真面目に説いたつもりです。

人十五分の話を終えて、体育局の先生もまじって無事切り抜けたことを祝って乾杯してホッとした。

したのでしよう。それから、ヨット部員の奉仕精神が、受講生に与えた感動は大きかったと思うのです。それがまた、この実技講習を成功に導いたと思うのです。

受講生諸君に期待されることは

いろいろお話した事を心に感じながら今後もヨットを忘れず、一生の誇りとして持ち続け、良い社会人に育って欲しいと思う。

もう一つ欲を言えば、ヨットにかかわったついでに、ヨット部に入って吾々の同志になってくれる人が一人でも出て来て欲しいなあ。

東京湾廻航記

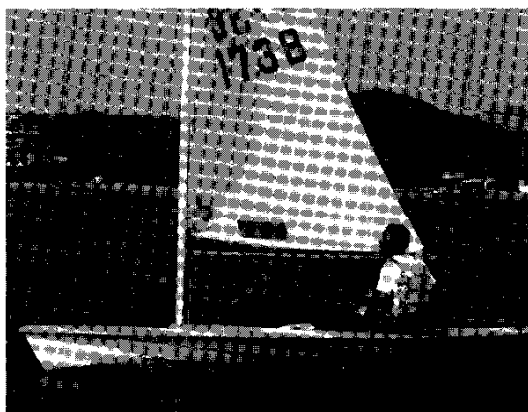
杉山 博保

実技講習合宿も終り、三戸浜への早稲田ヨット船団の廻航は、加藤総監督以下

OB現役の協力で九月十五日行われた。スナイプ四、四七〇が六艇は、現役が舵をとり、若手OBがクルーとして指導しながら廻航することになった。

残った一人乗りのシーホッパー二艇に舟岡と私に乗れという。先日の講習の時、私がシーホッパーは良い艇だとほめすぎたのがたまたた。

加藤は好意で言ってくれたのだろうが、こっちは内心恐怖心を覚えた。というのは、このフネは簡単に寝てしまうのだ。先日受講学生を満載した稲龍の目の前で、見事に沈を演じたばかりだ。久しぶりの廻航前夜、ウイスキーで神経をなだめて



熟睡。

朝、五時起床、機装、点検、そして朝食。ライフジャケットで準備完了。

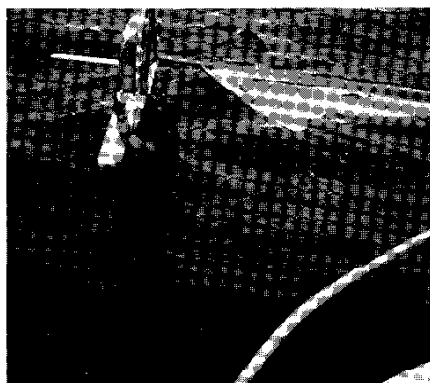
岩井の沖に出ると風が強くなってきた。北東・七・八メートル。シーホッパーは簡単にヒールする。体で頑張ってもとおおさえ切れない。ブローを予見して早目に切り上り風をだましてやらないとバタツといつてしまつ。金谷沖までは上りで、タックをくり返した。全艇集合。もう足も腕もガクガクだ。

さていよいよ、東京湾横断だ。航路の安全を確認後、久里浜に向かう。風はリーチングからアビームで艇は快調に波の上をすべるといふより、飛んでゆく感じ。波が固く感じられる。スポーツカーが、でこぼこ道をスピードを上げて走りぬけてゆく様な感じに似ている。

稲龍を先導艇として、スナイプ四隻、次にシーホッパー一隻、その後足速の四七〇級六隻、最後にレスキューが全艇の安全を見守りつ、十四隻一団となつて進む。早稲田ヨット船団が誇らしい。

久里浜沖合からコースを落して金田湾沖通過、城ヶ島を目指す頃には完全な追手となった。さて、これからが恐怖の連続だ。一寸油断をするとローリングが激しくなる、特に肝を冷すのが逆ヒール。緊張の連続。舵を一時といえども止めてはいられない。大きくローリングのく前に防がねばならぬ。剣崎の沖にさし

か、つた時、とうとう緊張の糸が切れた。一寸気を抜いたときに、艇は大きくローリングを始め逆ヒールした。スピードを落すことなく逆ヒールのま、波に突込んで、あつという間に潜水。背中から海の中に放り出された。直ぐレスキューが寄つてきた。もう少し体力・気力があれば



ラダーにしがみつくのがやっと！

自力で起せたのだが、艇にしがみついているのが精一杯であった。

レスキューからのロープにつかまり引っ張り上げられた時は、手も足もガクガクであった。レスキューから若い交替要員が来た。何なく艇をおこし、直ぐ帆走を始めた。

疲労でふるえる手でコップのウイスキーをあおる。もう一寸で完走できたのだが、不思議に満足感が残った。

城ヶ島の内側を通過、三戸浜に全艇無事に帰着した。雨になった。

卒業以来三十年、小型艇には一度も乗つていなかったのが心配だったが、十分も走っていると昔の勘をとり戻し自信も出てきた。まだ俺も小型艇に乗れると案

武村洋一氏談

杉山さんは早稲田大学臨時講師を務めるとあつて緊張したんじゃないかなあ。

やおら壇上に立つたスーサンは、

「学生諸君！」さらつと女子学生（九人）に目をやつて「やあ、処女もおつたな」と言つてしまつたのです。一瞬ハツとしました。満場シーンとして、や、間をおいて大爆笑。杉山先生だけがキョトンとしていました。

「おれはそんなこと言つた覚えは不工」とは数十分後、弁明していたけれど何人かの学生の証言もある事実です。本人が否定しているのは、何故かような言辭を發したかは、いまひとつ定かでないのではありませんが衆知を集めて推測した結果、次の二点にしばられたのです。

(1)「紳士、淑女諸君！」とやろうとしたところ、淑女と処女とを、とりちがえた。

(2)日頃から女子大学生の処女性を気にしている中年オジさんの本音が出てしまつた。

かくて、わがヨットクラブの伝説になるであろう語録がまたひとつふえたわけですよ。

しくなつてきた。

さてこ、で考えねばならぬのは、やはり部員不足である。今回は、若手OBの大きな協力が支えであった。わがクラブとしても、より真剣に考えてやらねばと痛感した。OB諸兄のいろいろな面でのご協力をお願いする次第であります。

所沢キャンパス 新設学部への募金

早稲田大学では、所沢キャンパス建設に際し、新しく次の学部の創設を企図しております。今度、箱門体育会では、その趣旨に賛同し、募金活動を開始しました。諸先輩のお手元にも趣旨説明の通知お願状が届いているかとも存じます。新しい学部・学科は次の通りです。

- 人間総合科学部
- 人間基礎科学科
- 人間健康科学科
- スポーツ科学科

このスポーツ科学科には一学年、二百四十人の規模を構想されております。新しい時代の、新しい大学、新しいスポーツ科学を目指して、大学当局の構想が具体化されつゝあるのです。

皆様のご理解ご協力を切にお願いいたします。

早稲田ヨットマン

秋のつどい 85

11月15日(金) 17時30分〜20時
永楽倶楽部
会費 五千円(家族・三千円)
同期の人々を誘い合わせて下さい
ご家族大歓迎です。

(テーマ)

- ・矢頭先生に感謝すると共に、今後よろしくお願ひする。
- ・四大学OB戦の優勝を祝う。

60年度インカレ遠征費(寄付)一覧

- (14)は卒業年度(敬称略) ()単位千円
- ⑭新名(10) ⑯坪田(10) ⑰渡辺(10) ⑱漆原(10) ⑲安藤(10) ⑳米田(5) ㉑浜川(10) ㉒是枝(10) ㉓遊佐(10) ㉔岩本(10) ㉕千葉(10) ㉖松本(10) ㉗舟岡(10) ㉘日色(10) ㉙大沢(10) ㉚杉山(10) ㉛鈴木(10) ㉜武村(10) ㉝山崎(20) ㉞加藤(10) ㉟清水(10) ㊱並木(20) ㊲原口(10) ㊳菅山(10) ㊴原田(10) ㊵土肥(10) ㊶原木村(10) ㊷吉川(10) ㊸稲垣(5) ㊹石田(5) ㊺山崎(10) ㊻山中(10) ㊼倉谷(10) ㊽中島(10) ㊾古内(10) ㊿大(10) ①小坂(10) ②森(10) ③滝(10) ④頼(10) ⑤岡田(10) ⑥金刺(5) ⑦石合(10) ⑧中村(10) ⑨岡戸(10) ⑩豊田(5) ⑪佐々木(10) ⑫十津井(5) ⑬冬至(10) ⑭本(10) ⑮伊藤(10) ⑯大矢木(10) ⑰北島(10) ⑱藤田(10) ⑲菊地(10) ⑳大島(5) ㉑原田(5) ㉒山田(5) ㉓大島(5) ㉔横山(5) ㉕半戸(5) ㉖千把(5) ㉗三塚(5) ㉘高松(10) ㉙赤松(10) ㉚冬至(10) ㉛岩崎(5) ㉜酒井(10) ㉝大原(5) ㉞橋本(5) ㉟渡辺(10) ㊱松下(10) ㊲井上(10) ㊳市村(10) ㊴松原(5) ㊵戸枝(10) ㊶地曳(10) ㊷中島(5) ㊸川上(5) ㊹橘(12) ㊺芝崎(5) ㊻長瀬(5) ㊼小池(10) ㊽鎌田(10) ㊾黒田(5) ㊿小(10) ㊻若月(7) ㊼瀨川(7) 以上九七名
- 合計金額 八七四、〇〇〇円

小松氏コーチ料(寄付)

- ⑤風間 中島(5) ⑥塙 石渡 長瀬 小池
⑦黒田 鎌田 森出(9) 佐々木 小野 市井 松本 小田(6) 小山 梅原 瀬川以上各九、〇〇〇円 ⑧三好(6) ⑨和田各五、〇〇〇円、学生三六、〇〇〇円
- 合計金額 一九九、〇〇〇円
- 前号記載分以降、お振込みのあった会費、ご寄付の明細以下の通りです。ご協力ありがとうございました。

- (60年度会費(ツツキ))
- ⑳天神 ㉑米田秀 ㉒杉山 ㉓山崎昭
安藤順 堀 ④長沢 後藤伸 八藤丸
④高須 山内 ⑤北島 ⑥恒川
以上十二名 合計 八十二名
- (ご寄付一覧)
- ②横田(20) ③天神(20) 以上 四万円
合計 三十九万円

年会費は、クラブ活動の火をたやさない為の源泉です。会費納入不振の年度の方、声をかけあつて、目的遂行の為に努力をお願いします。

早稲田ヨット部の会費とご寄付をお願いします

振込先 第一勧業銀行
日本橋支店
普通預金口座 一四四七三九
ワセタヨットクラブ 杉山博保

是非々々、皆さんのご協力をおねがい申し上げます。

秋のインカレ

四七〇級優勝/総合四位!

新しいメンバーで争われる秋の関東インカレは、十月二十一日より葉山沖で開催、わが早稲田は、四七〇級で優勝・スナイプ八位、総合で四位となった。

参加、五十校。各三艇づつ。予選二ブロッタの上位六チームづつで決勝を行った。決勝二十七日、二十八日は、五、六メートルの風、絶好コンディションだった。前記成績を上げた。三年生七名、二年生六名、一年生五名が、今回の合宿メンバーであった。

住所変更		名簿を訂正して下さい。(29)は卒業年度	
②9米田 秀久	▽451	名古屋市西区鳥見町2-22-1	パークシティ鳥見A-1505 ☎052(532)0734
③3山田泰三郎	▽654	神戸市須磨区北落合4-28-10	☎078(791)0870
④5吉岡 克朗	▽238-02	神奈川県三浦市諸磯1241	☎0468(81)5525
④7早川 恒男		デュッセルドルフへ転勤	
④8平戸 雅幸	▽232	横浜市南区大岡1-52-10	☎045(715)4498
④9三塚 正文	㊸前回	元塚正文と誤植	
	▽248	鎌倉市極楽寺2-4-12	☎0467(22)0685
⑤0恒川 由巳	▽569	大阪府高槻市宮野町3-2-402	☎0726(71)3928
⑤3酒井 俊夫	▽215	川崎市麻生区王禅寺2625	協和醸造百合ヶ丘アパート303号 ☎044(966)6769
⑤6川上 弘恭	▽223	横浜市港北区箕輪町592	ホワイトパレス205号 ☎045(62)7012
⑤6風間 利也	▽193	八王子市欄田町1016-2	サンハイツ202
⑤8森田 明愛	▽567	大阪府茨木市春日5-2-2-55	東レ茶木寮 ☎0726(25)8709
⑤9小野 芳夫	▽244	横浜市戸塚区戸塚町2833	住友信託銀行戸塚寮 ☎045(861)3690